

35周年、新病院開業で手術急増 前立腺肥大症に「WAVE治療」導入

今年創立35周年を迎え、5月には前立腺肥大症の治療に経尿道的水蒸気治療の「WAVE治療」を導入した。これは前立腺の肥大した部位に水蒸気を注入し、水蒸気の熱（103℃）で細胞を壊死、縮小させる治療法。治療時間は10〜15分。

ただ尿道カテーテルを留置するため、入院（5日間程度）が必要だ。脳疾患や心疾患などで抗血栓薬を内服している患者でも適用になり、安全で無血の低侵襲治療なので超高齢の患者も治療を受けられる。

また、同じ前立腺肥大症の治療で「接触式レーザー前立腺蒸散術（CVP）」の内視鏡手術の新型ファイバー「XC AVATOR」（エ

クスカベーター）

を昨年10月に導入。こちらも低侵襲治療で従来は核出術を行うしか手立てがなかった100cc以上の大きな前



立腺の患者にも適用になる。

「患者の背景や前立腺の大きさに合わせてWAVEやCVP等の最善の手術方法を選択し、身体に負担のない治療に力を入れていきたい」と丸晋太郎理事長。

21年8月の新病院開業の際、診療体制を拡充したため、外来患者や手術が急増。手術件数は旧病院と比べ年間200件以上も増えた。今年4月には腎臓内科の医師を増員し、人工透析の拡充も図った。



丸 晋太郎理事長

（まる しんたろう）獨協医科大学医学部卒。北海道大学大学院医学研究科修。帯広厚生病院（泌尿器科副医長）、市立札幌病院（泌尿器科副医長）などを経て、2016年4月に医療法人仁榆会の理事長に就任。日本泌尿器科学会専門医・指導医。日本泌尿器腹腔鏡技術認定医。

医療法人仁榆会

仁榆会札幌病院

札幌市豊平区中の島2条7丁目1番1号
電話（011）814・9911